

「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと!」 ワークショップ

▼ ▼ ▼ 岩手・宮城・福島の子どもたちと一緒に話してみませんか? ▼ ▼ ▼

地域や学年をこえて、いろんな仲間と出会えるはず。

東日本大震災の経験から、“防災についての思いや意見を世界に伝えたい!”という、
みんなの参加をお待ちしています。

2014年12月20日(土)～12月21日(日)

【場所】モンタナハート岩沼(宮城県岩沼市)

【対象】岩手・宮城・福島県の小学5年生以上18歳未満の子ども

※県外に避難している子どもたちも、参加できます。

【定員】40名

【参加費】無料(交通費・宿泊費・食費、保険等も弊会が負担します。)

【申込み締切】12月4日(木)



岩手・宮城の子どもたちが
国連事務総長特別代表(防災担当)に提言書を提出



2012年7月 世界防災閣僚会議in日本

第4回防災グローバルプラットフォーム会合
東日本大震災の経験にもとづいて意見を発信!



2013年5月 第4回防災グローバルプラットフォーム会合inスイス

第6回アジア防災閣僚会議
“もし私が総理大臣だったら”というテーマで意見発表!



2014年6月 第6回アジア防災閣僚会議inタイ(テレビ会議参加)

<第3回国連防災世界会議>

来年3月14～18日、宮城県仙台市で、世界の防災について話し合う国際会議、第3回国連防災世界会議が開催されます。セーブ・ザ・チルドレンでは、この会議で“世界に向けて自分たちの声を伝えたい!”という東北の子どもたちを募集しています。まずは12月20～21日に実施するワークショップに参加ください!ワークショップ参加者の中から子どもたちが選んだ代表メンバーが3月の国際会議に参加できます♪

第3回 「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと！」 ワークショップ

●スケジュール●

12月20日(土)

- 11時 各地(*)から仙台駅に集合、バスで移動(仙台駅→会場)
- 12時15分 会場到着、昼ごはん
- 13時30分 「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと」について話し合い①
- 18時 ★初対面の子も同士でも楽しく参加できる内容です♪
- 18時 晩ごはん、交流会、おふろ、就寝
- ★晩ごはんの後は交流会や温泉もあります♪

12月21日(日)

- 7時30分 朝ごはん
- 9時 「世界の防災に向けて、私たちが伝えたいこと」について話し合い②
- 12時30分 昼ごはん
- 13時30分 代表メンバー選出、ふりかえり、バスで移動(会場→仙台駅)
- 16時30分 仙台駅到着、各地(*)に移動し、解散

※各地から仙台駅間の移動は個別にご相談いたします。

●概要●

【場所】 モンタナリゾート岩沼(宮城県岩沼市)

【対象】 岩手・宮城・福島県の小学5年生以上18歳未満の子ども※県外に避難している子どもたちも、参加できます。

【定員】 40名

【参加費】 無料(交通費・宿泊費・食費・保険等も弊会が負担します。)

【申込み締切】 12月4日(木)

※お申込みいただきました方には、詳細をメールまたは電話にてご連絡いたします。

【申込み方法】 下記の内容を明記の上、Eメール、電話、またはFAXにてお申し込み下さい。

①氏名(フリガナ)、②学年、③住所、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥保護者氏名

※④について:こちらからお電話をする場合があります。連絡がしやすい番号をご記入ください。

【申し込み先・問い合わせ先】 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 遠野事務所 担当:平瀬

Eメール:soft@savechildren.or.jp 電話:0198-68-3012(平日9:00~18:00) FAX:0198-68-3637

参加者
大募集!!

●保護者のみなさまへ●

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(以下SCJ)はすべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指し、世界約120カ国で活動を展開する国連公認の国際子ども支援NGOです。

SCJでは、地域の一員である子どもたち自身が自らの思いや意見を社会に発信できるように、様々な機会を提供しております。その一環として、2011年5月から東日本大震災からの復興に地域の一員である子どもたち自身が、復興に向けたまちづくりに声を上げ参加する事業「SOFT」(Speaking Out From Tohokuの略)を実施。その中で、被災三県の子どもたちが、下記のような活動を通じて自分たちの経験にもとづきながら、防災(災害リスク軽減)についての思いや意見を世界に発信しています。

- 2012年7月に世界防災閣僚会議、同年10月に第5回アジア防災閣僚級会議に岩手・宮城の子どもたちが参加し、提言
- 2012年7月に岩手・宮城の子どもたちがマルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表(防災担当)と意見交換
- 2013年3月に第1回「世界の防災について、私たちが伝えたいこと！」ワークショップにて提言書を作成
同年5月に子どもたちが決めた代表メンバー4名が第4回防災グローバルプラットフォーム会合に参加し、提言
- 2013年2月に福島の子もたち、10月に岩手県陸前高田の子もたちがマルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表(防災担当)と意見交換
- 2014年3月に第2回「世界の防災について、私たちが伝えたいこと！」ワークショップにて話し合い
子どもたちが決めた代表メンバー3名が、同年6月に第6回アジア防災閣僚会議にて意見発表
(当日の様子については、表面の写真をご覧ください。)

来年3月に実施される第3回国連防災世界会議では、兵庫行動枠組につづく、災害から私たちの命を守るための国際的な行動計画がつけられます。そこで、SCJでは、東北の子どもたち自身が、地震、津波そして原発事故という複合災害としての東日本大震災の経験をもとに声をあげ、子どもたちの意見を世界の防災に関する計画に反映してもらうためのワークショップを実施します。たくさんの子もたちのご参加をお待ちしています!!



【主催】 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【共催】

children in a changing climate

